

# 保証とアフターサービス (よくお読みください)

使い方・お手入れ・修理 などは

■まず、お買い求め先へ ご相談ください

修理を依頼されるときは

「故障かな？」(P.25)で確認のあと、  
直らないときは、まず電源プラグを抜いて、  
お買い上げ日と右の内容をご連絡ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名

電 話 ( ) -

お買い上げ日 年 月 日

●製品名 電子レンジ

●品 番 NE-FL1C

●故障の状況 できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従って  
出張修理いたします。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間。  
ただし、マグネトロンは 2 年間です。  
(一般家庭用以外に使用される場合は除きます)

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料 診断・修理・調整・点検などの費用

部品代 部品および補助材料代

出張料 技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間 **8年**

当社は、この電子レンジの補修用性能部品  
(製品の機能を維持するための部品)を、  
製造打ち切り後 8 年保有しています。

サポート総合窓口

<https://panasonic.jp/support/>

調理商品 使い方・お手入れなどのご相談窓口	修理に関するご相談窓口
<p>フリーダイヤル パナは ロクキューヨン <b>0120-878-694</b></p> <p>受付時間 9:00～18:00 月～土曜日 (祝日・正月三が日を除く)</p> <p>■上記電話番号がご利用 いただけない場合 <b>06-6907-1187</b></p> <p>■FAX フリーダイヤル <b>0120-878-236</b></p> <p>Help desk for foreign residents in Japan Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787 Open: 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays / national holidays)</p>	<p>フリーダイヤル パナは イイヨ <b>0120-878-554</b></p> <p>■上記電話番号がご利用 いただけない場合 <b>03-6633-6700</b></p> <p><a href="https://panasonic.jp/support/repair.html">https://panasonic.jp/support/repair.html</a></p>

・掲載サイトおよび動画の視聴は無料ですが、通信料金はお客様のご負担となります。  
(パケット定額サービスに未加入の場合、高額になる可能性があります)  
・ご使用の回線 (IP 電話やひかり電話など) によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。  
・上記の URL はお使いの携帯電話等により、正しく表示されない場合があります。

## 【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

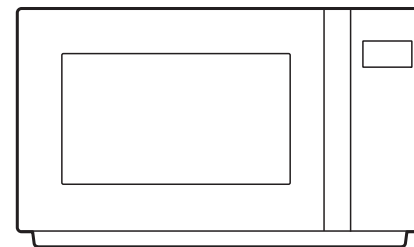
パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに  
利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくとき  
のために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や  
正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。  
個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

# Panasonic®

## 取扱説明書

家庭用電子レンジ

品番 **NE-FL1C**



### ご使用前に

別売品 / ロックについて ..... 2  
安全上のご注意 ..... 3  
使用上のお願い ..... 8  
使える容器・使えない容器 ..... 9  
各部の名前 ..... 10  
●ブザー音を消したいときは ..... 11

### 使い方

ごはん・おかずをあたためる ..... 12  
あたためるときの注意とコツ ..... 13  
飲み物をあたためる ..... 15  
解凍する ..... 16  
レンジボタンで加熱する ..... 18  
スピード機能を使う ..... 19  
レンジボタンで野菜をゆでる ..... 20  
レンジボタンで  
加熱するときの目安時間 ..... 22

### 必要なときに

うまく仕上がらない ..... 24  
故障かな? ..... 25  
お手入れする ..... 26  
仕様など ..... 27  
保証とアフターサービス ..... 裏表紙

### 保証書別添付

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(3～8 ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
- ご使用中、異常を感じたら使用を中止し、コンセントから電源プラグを抜いて、販売店に点検をご相談ください。

パナソニックの会員サイト「CLUB Panasonic」で「商品登録」をお願いします。(27 ページご参照)

パナソニック株式会社 くらしアプライアンス社

〒525-8520 滋賀県草津市野路東2丁目3番1-1号

© Panasonic Corporation 2024

F0003-14L0

F0824-0

# 別売品

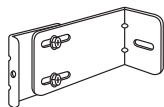
## 電子レンジ転倒防止金具C

(電子レンジと木製壁面とを固定する金具)

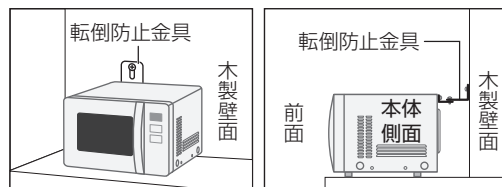
品番: A195A-1K20

メーカー希望小売価格: 1,100円(税込み)

●地震対策としてもお使いいただけます。



### ●設置イメージ



メーカー希望小売価格は2024年11月現在

●イラストは、実物と異なる場合があります。

●別売品は、販売店でお買い求めいただけます。  
パナソニックの家電製品直販サイトでもお買い求めいただけます。

詳しくはパナソニックの  
家電製品直販サイトをご覧ください。

パナソニックグループのショッピングサイト  
<https://ec-plus.panasonic.jp/>



表示部に「M」と表示されているときは、店頭用モードのため加熱できません。



### 【解除方法】

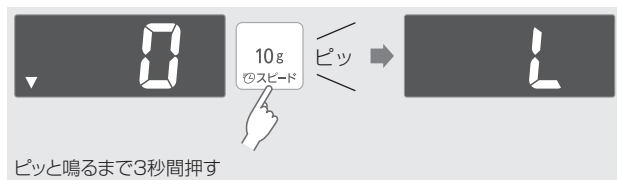
- ①「レンジ」ボタンを押す。
- ②「スタート」ボタンを4度押す。
- ③「取消」ボタンを4度押す。

## ロックについて

すべてのボタン操作を受け付けられない設定にできます。  
自動電源オフ機能が働いたり、電源プラグを抜いたりしてもロックが継続されます。

### ■ロックをかけたいときは

初期画面の状態で「10g」ボタンを  
3秒間押すとピッと鳴り、  
画面に「L」が表示されます。



### ■ロックを解除したいときは

「L」表示の状態で「10g」ボタンを3秒間押すとピッと鳴り、画面に「0」が表示され解除されます。

## 安全上のご注意 (必ずお守りください)

人への危害、財産への損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や  
損害の程度を区分して、説明しています。

■お守りいただく内容を、次の図記号で  
説明しています。(次は図記号の例です)



### 危険

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



### 警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



### 注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



気を付けていただく内容です。



## 危険



### 自分で絶対に修理・分解・改造をしない

感電や発火、異常動作によるけがのおそれがあります

故障した場合は  
お買い上げの販売店にご相談ください。



### 吸気口・排気口(⇒ P.10)・ 製品のすき間に針金などの 金属物や異物、指を入れない

高圧部があり、感電やけがのおそれがあります

異物が本体に入ったら  
まず電源プラグを抜いて、お買い上げの  
販売店にご相談ください。



## 警告

### 設置するとき



### 吸気口・排気口(⇒ P.10)は ふさがらない

火災の原因になります

ごみ、ほこりなどで吸気口・排気口が  
ふさがれないようこまめにお手入れ  
してください。



### 水のかかる場所では使わない

感電や漏電の原因になります



### アースを確実に取り付ける ⇒ P.8を必ずお読みください。

故障や漏電のときに、感電のおそれがあります

#### アース線は

- アース端子に接続する。また、転居などの際も忘れずに取り付ける。取り付け方は ⇒ P.8
- ガス管や水道管、電話や避雷針のアースなどと、絶対に接続しない。(法令で禁止されています)
- アース端子がないときや湿気が多い場所、水けのある場所では、アース工事が必要。

**警告****食品の加熱時は****食品を加熱しすぎない**

過熱により、発火や発煙、やけどのおそれがあります

- 以下の場合、自動で加熱しない
  - 少量や指定分量\*以外の食品
  - 100g未満の食品
  - ふた、およびふた付きの容器での加熱
- ➔ 「レンジ」ボタンで様子を見ながら加熱する。

※ 指定分量はメニューによって異なります。  
各ページを参照してください。

**「レンジ」ボタンでは、設定時間を控えめにし、様子を見ながら加熱する**

食品の分量に対して、加熱時間が長いと、過熱により、発火や発煙、やけどのおそれがあります

特に、水分が少ない食品、薄く小さく切った野菜、油脂の多い食品・液体は、少量だけ加熱すると、焦げやすく、加熱が進むと煙が出たり、発火したりする場合があります。必ず、加熱時間を控えめにし様子を見ながら加熱してください。

**飲み物などの加熱時、やけどを防ぐために(突沸などに注意)****飲み物などを加熱しすぎない**

加熱後、取り出したあとに、突然沸とうして飛び散ることがあり、やけどのおそれがあります

- 牛乳、コーヒー、お茶、ジュース、水などを自動であたためるときは、必ず、「2 飲み物」ボタンを押して加熱する。  
➔ P.15
- お酒は「レンジ」ボタンの600Wで様子を見ながら加熱する。➔ P.22

**油脂の多い食品・液体\*1や、粒入りスープ\*2、みそ汁を加熱するときは以下の方法で加熱する**

加熱後、取り出したあとに、突然沸とうして飛び散ることがあり、やけどのおそれがあります

ラップをして、「レンジ」ボタンの500Wで様子を見ながら加熱する。  
ただし、スピード機能を使わない。

- みそ汁のみラップなしで、「2 飲み物」ボタンで加熱する。➔ P.15

※1 バター・生クリーム・オリーブ油など  
※2 コーンの粒やあさりなどが入ったスープ

**「レンジ」ボタンで加熱するときは、設定時間を控えめにする**

加熱しすぎると、加熱後、取り出したあとに突然沸とうして飛び散ることがあり、やけどのおそれがあります

**容器は、広口で背の低い容器に8分目まで入れる**

少量の加熱は沸とう、沸とうによる突然の飛び散りの原因になります

**加熱前、加熱後は必ずスプーンでかき混ぜる**

加熱後、取り出したあとに、突然沸とうして飛び散ることがあり、やけどのおそれがあります

**警告****加熱時の破裂を防ぐために****ゆで卵(殻付き・殻なし)は加熱しない**

破裂による飛び散りや、衝撃による庫内底面の割れなどですが、やけどのおそれがあります

**卵は必ず割りほぐす**

破裂による飛び散りや、衝撃による庫内底面の割れなどですが、やけどのおそれがあります

**ぎんなんなど、殻や膜のある食品は割れ目を入れる**

破裂による飛び散りや、衝撃による庫内底面の割れなどですが、やけどのおそれがあります

**ビン・容器のふたや、ネジ式のせんは外す**

破裂による飛び散りや、衝撃による庫内底面の割れなどですが、やけどのおそれがあります

- 密閉状態にならないようにする。
- レンジ用のふたやラップをするときは、すき間をあける。

**電源コードや電源プラグを傷付けない**

(加工する、排気口などの高温部に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物をのせる、束ねる、はさみ込むなど)

**傷付いた電源コードや電源プラグ、緩んだコンセントは使わない**

破損による感電、ショートして火災などの原因になります

**電源は、延長コードを含め、定格15A以上・交流100Vのコンセントを必ず単独で使う**

異常発熱による火災の原因になります



〈タコ足配線は禁止〉

**ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない**

感電のおそれがあります

**電源プラグは、根元まで確実に差し込む**

感電や発熱による火災の原因になります  
緩んだコンセントは使わないでください。

**電源プラグを抜くときは、電源コードを持って引き抜かない**

感電や、ショートによる発火のおそれがあります

**電源プラグのほこりは、乾いた布で定期的に確実に取る**

ほこりに湿気がたまり、絶縁不良で火災のおそれがあります

**電源プラグ、電源コードは本体の後面・側面と壁などにはさみ込んで使用しない**

発熱や荷重によるショートで、感電、発煙、火災などの原因になります

**長期間使用しないときは、電源プラグを抜く**

絶縁劣化で火災の原因になります

**警告****次の点もご注意ください**

**子供だけで使わせない  
幼児の手の届くところで使わない**  
やけど、感電、けがのおそれがあります



**本体のお手入れは、電源プラグを  
抜き、庫内が冷めてから行う**  
やけど、感電、けがのおそれがあります



**ドアに乗ったり、  
ぶら下がったりしない**  
本体が転倒、落下し、  
けがのおそれがあります



**ベビーフードや介護食を  
あたためるときは、加熱後、  
かき混ぜてから温度を確認する**  
やけどのおそれがあります

**異常・故障時には**

**直ちに使用を中止し、電源プラグを抜く**  
発火や発煙、感電のおそれがあります

異常・故障例

- 電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。
- 異常なおいや音がする。
- ドアや庫内に著しいガタや変形がある。
- 触ると電気を感ずる。

すぐにお買い上げの販売店へ点検・修理を依頼してください。

**注意****設置について**

**転倒や落下をさせない**  
けが、感電、電波漏れの原因になります

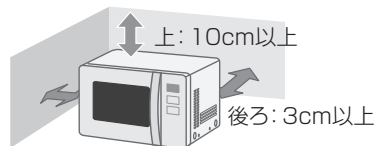
- 不安定な場所に置かない。
- 置き台からはみ出さない。
- ドアに無理な力を加えない。

●転倒防止金具をご利用ください。  
当社電子レンジ転倒防止金具Cが  
あります。(別売品 P.2参照)

万一、転倒・落下したら  
外部に損傷がなくてもそのまま使用せず、  
必ずお買い上げの販売店にご相談ください。



**本体上面、壁との間は  
下記以上の距離を確保する**  
間をあけないと、壁などが過熱して  
発火することがあります



左右: 各3cm以上  
左右どちらか一方を開放する  
5面で囲まれたところには設置しないで  
ください。

**注意****発火や発煙を防ぐために、ご使用前に確認する**

**調理以外の目的には使わない**  
過熱により、発火や発煙、やけどの  
おそれがあります



**庫内に付着した油や食品カスを  
放置したまま加熱しない**  
発火や発煙の原因になります  
必ず庫内が冷めてからふき取ってください。



**庫内に食品などが入っていない  
状態で、動作させない**  
火花が出て異常高温になり、発火や発煙、  
やけどのおそれがあります。  
容器だけでも動作させない。



**鮮度保持剤(脱酸素剤)などを  
入れたまま加熱しない**  
発火や発煙のおそれがあります



**金属容器、レトルトパウチ食品、  
缶詰などは使わない**

火花が出て、発火、発煙、食品の破裂、  
ドアガラスの割れ、庫内底面の赤熱による  
割れなどで、けが、やけどのおそれがあります

- 使用できない金属容器の例  
アルミホイル、アルミ製のお弁当用カップなど。
- レトルトパウチ食品は、パッケージの指示に  
従って加熱してください。



**庫内の包装材は取り出す**  
焦げや変形、発火の原因になります

**ドアは**

**物をはさんだまま使わない**  
電波漏れの原因になります



**加熱中や加熱後に水をかけない**  
ガラスが割れて、けがの原因になります

**加熱中、加熱後は**

**万一、庫内で食品が燃えたら、  
ドアは開けない**

酸素が入り、勢いよく燃えます

- 次の処置をして、鎮火を待ってください。  
①「取消」ボタンを押す。  
②電源プラグを抜く。  
③燃えやすい物を、本体から遠ざける。

万一、鎮火しないときは

- 水や消火器で消火する。
- そのまま使用せず、必ずお買い上げの  
販売店へご相談ください。



**庫内底面に、衝撃を加えたり、  
水をかけたりしない**

破損して、けがをするおそれがあります  
万一、破損したらそのまま使用せず、必ず  
お買い上げの販売店へご相談ください。



**次の場合、熱い容器や蒸気、  
飛まつに気を付ける**

やけどのおそれがあります

- ドアを開けるとき
- 食品を取り出すとき
- ふたやラップを外すとき





注意

## お弁当をあたためるときは



### 「1 あたため」ボタンを押して あたためない

容器の変形や溶けのおそれがあります  
「レンジ」ボタンの600Wで様子を見ながら  
加熱する。➡ P.22



### ふた・ラップを外し、ゆで卵や アルミケース、調味料類は 取り出す

火花が出たり、破裂したりして、けが、やけどの  
おそれがあります

## 使用上のお願い

QRコードからアースについての内容をご  
覧いただけます。



### 本体の設置、無線機器などへの影響について

- 壁の材質によっては、壁に本体との接触の跡が付く場合があります。  
気になる場合は、壁面から少しすき間をあけて設置してください。
- 本体は、テレビやラジオから4m以上離してください。画像や音声などが乱れる原因になります。
- 本体の近くでは、無線機器(無線LANなど)の通信機能が低下することがあります。  
無線機器の取扱説明書などをよくお読みのうえ、ご使用ください。

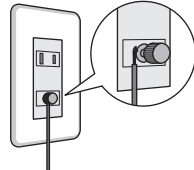
### アースの工事が必要なとき

本体価格には工事費は含まれていません。

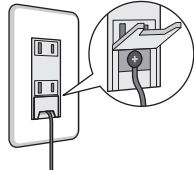
- 電源コンセントにアース端子がないときは、アース端子を取り付けするための工事が必要なため、  
お買い上げの販売店にご相談ください。
- 次の場合は、電気工事士の資格のある者による、施工「D種接地工事」が法令で定められています。
  - 湿気が多い場所: 飲食店の厨房、酒やしょうゆの貯蔵庫、コンクリート床など
  - 水けのある場所(漏電しゃ断器も取り付け): 生鮮食料品店の作業場など水の飛び散る所、土間・地下室など  
結露の起きやすい所など

必ずお読みください。➡ P.3「警告/アースを確実に取り付ける」

#### ■ アースの取り付け方



- つまみタイプ  
つまみを緩め  
ネジ部分に  
先端を巻き付け、  
つまみをしめる。



- ふた付きタイプ  
ふたを開けてドライバーで  
ネジを緩め、ネジ部分に  
先端を巻き付ける。  
ドライバーでネジをしめ、  
ふたを閉める。

アース先端の皮をむき、  
先端を外してください。  
芯線を傷つけないように  
注意してください。

- アース線の長さが足りないときは、市販のアース線を購入して付けかえる必要があるため、  
お買い上げの販売店にご相談するか、QRコードからご確認ください。

### 加熱のときは

- 缶詰(金属容器)や、レトルトパウチ食品(包装の一部にアルミを使用)は、別の容器に移して加熱してください。

### 長い間ご使用いただくために

- 庫内に付着した油、食品カス、水滴などは放置せず、調理後、必ずふき取ってください。  
(さびの原因になります)

## 使える容器・使えない容器

ガラス

耐熱性がある



使えます

高温になる料理は急熱、急冷に強い耐熱ガラス製容器を  
お使いください。

耐熱性がない



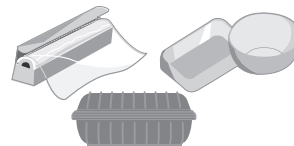
使えません

カットガラスや強化ガラスも溶けたり、割れたりします。

プラスチック・ラップ・シリコン容器

耐熱性がある

(耐熱温度140℃以上)



使えます

- ふたには熱に弱い物があります。
- 次の物は使えません。
  - ・ 油脂や糖分の多い食品(高温になります)
  - ・ 密閉したふたや袋
  - ・ 「電子レンジ使用可能」表示のない容器

耐熱性がない

(耐熱温度140℃未満)



使えません

高温になり溶けます。電波で変質する容器  
(ポリエチレン、メラミン、フェノール、ユリア樹脂など)も  
使えません。

陶磁器・漆器

陶器、磁器



使えます

ただし、色絵や、ひび・金銀模様のある器は傷んだり、  
火花が出たりすることがあるので使えません。

漆器



使えません

塗りがはげたりひび割れしたり、燃えたりします。

金属

アルミ・ホーローなどの  
金属、アルミホイル



使えません

金あみや金ぐし、金属製の焦げ目付け皿なども使えません。  
➡ 安全上のご注意 P.7

その他

紙製品、木製容器



使えません

- 針金を使っている製品は、燃えやすくなります。
- 耐熱加工されているクッキングシートなどは  
パッケージの指示に従って使えます。

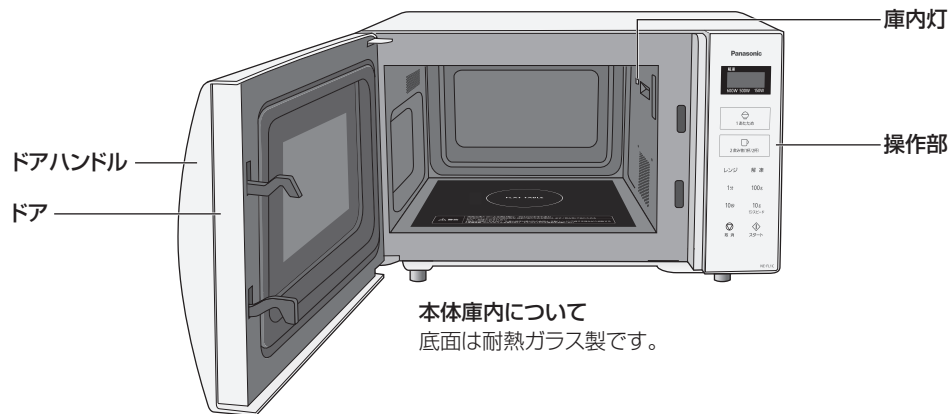
# 各部の名前



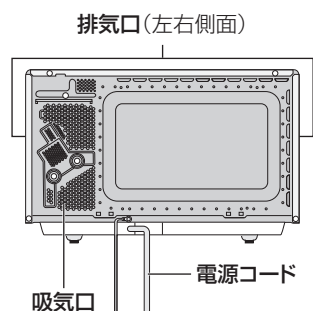
## 警告



電源プラグ、電源コードは本体の後面・側面と壁などにはさみ込んで使用しない  
発熱や荷重によるショートで、感電、発煙、火災などの原因になります



蒸気センサー  
(庫内右上)



排気口(左右側面)

電源コード

アース線

必ずアース端子に取り付ける  
→ P.8

電源プラグ

電源コンセント

アース端子

### ■自動電源オフ機能

しばらく操作をしなかったとき、または、加熱後しばらくすると自動で電源が切れます。  
(「0」表示が消える)  
電源が切れる時間は加熱したメニューなどにより異なります。(約2～6分)

### ■電源を入れるには

自動電源オフ時は、ドアを開閉すると電源が入り、表示部に「0」と表示します。  
通常は、電源プラグを差し込むと電源が入ります。

## 操作部

「M」と表示されているとき  
店頭用モードのため、  
加熱できません。

### 【解除方法】

- ①「レンジ」ボタンを押す。
- ②「スタート」ボタンを4度押す。
- ③「取消」ボタンを4度押す。

### レンジボタン

レンジ出力の切り換えに使用します。  
→ P.18～23

### 時間ボタン

レンジの加熱時間の設定に使用します。  
→ P.18、19

### 取消ボタン

操作を取り消す／加熱を中止する  
ときに使用します。

- 加熱中にできばえを見たいときは、このボタンを押さずに、ドアを開けて確認します。  
ドアを閉め、「スタート」ボタンを押すと加熱を再開します。

自動メニュー(自動加熱)とは…レンジの出力や加熱時間などの設定が不要な加熱メニュー

### ■ブザー音を消したいときは

すべてのブザー音が消えます。(操作音、加熱終了音、取り出し忘れ防止ブザー音)

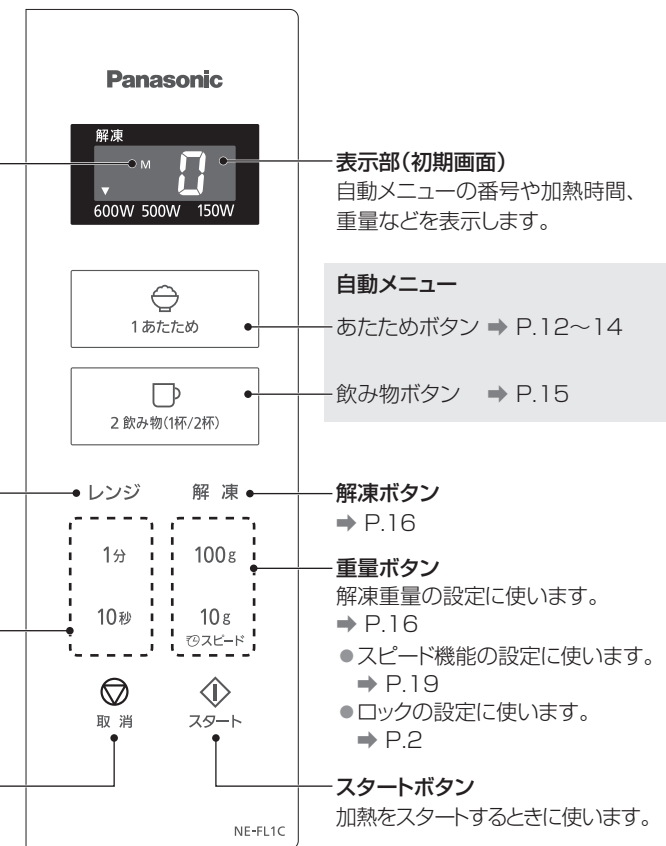


ビッと鳴るまで2秒間押す(3回くり返す)

「取消」ボタンをビッと鳴るまで2秒間押す。  
この操作を3回くり返す。  
(「OFF」表示され、3秒後「0」表示に戻ります)

### ■ブザー音を鳴らしたいときは

「取消」ボタンをビッと鳴るまで2秒間押す。この操作を連続で3回くり返す。  
(「On」表示され、3秒後「0」表示に戻ります)



表示部(初期画面)  
自動メニューの番号や加熱時間、  
重量などを表示します。

### 自動メニュー

あたためボタン → P.12～14

飲み物ボタン → P.15

### 解凍ボタン

→ P.16

### 重量ボタン

解凍重量の設定に使用します。

→ P.16

- スピード機能の設定に使用します。  
→ P.19
- ロックの設定に使用します。  
→ P.2

### スタートボタン

加熱をスタートするときに使用します。

# ごはん・おかずをあたためる

例)ごはんを1杯あたためるとき

## 1 食品を入れる

必ず、食品の分量に合った耐熱容器を使って加熱します。

- 使える容器 → P.9
- 食品の分量 → P.14
- 食品により、ラップをします → P.14



## 2



を押す (加熱開始)

残り時間は表示しません。



ピーピーと5回鳴ったら

でき上がり

庫内に取り忘れがあると、「ピーピー」と2分おきにブザーが鳴ります。(6分間)

### ■加熱不足のときは追加工熱をする

取り出して混ぜたり、並べかえたりして、「レンジ」ボタンの600Wで様子を見ながら加熱します。

## 警告



「1 あたため」ボタンを押してあたためるときは

- 100g未満の食品はあたためない  
発火や発煙するおそれがあります  
「レンジ」ボタンで様子を見ながら加熱してください。
- コーンの粒やあさりなどが入ったスープ、みそ汁はあたためない  
具が飛び散ることがあり、やけどのおそれがあります
  - ラップをして、「レンジ」ボタンの500Wで様子を見ながら加熱してください。→ P.22  
ただし、スピード機能を使わないでください。
  - みそ汁のみラップなしで、「2 飲み物」ボタンで加熱してください。→ P.15

## 注意



「1 あたため」ボタンを押してあたためるときは、お弁当はあたためない

容器の変形や溶けのおそれがあります  
ふた・ラップを外し、ゆで卵やアルミケース、調味料類は取り出して「レンジ」ボタンの600Wで様子を見ながら加熱してください。→ P.22

# あたためるときの注意とコツ

■以下の食品をあたためるときは、安全上、「1 あたため」ボタンを使用しないでください  
(安全上のご注意 → P.4)

食 品	加熱方法 または 注意事項
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 少量や指定分量以外の食品</li> <li>● 100g未満の食品</li> <li>● ふた、およびふた付きの容器に入った食品 → センサーで正しく検知できず、加熱しすぎによる発火や発煙のおそれ</li> </ul>	「レンジ」ボタンの600Wまたは500Wで様子を見ながら加熱する → P.22 ● 少量や指定分量以外の食品は、600Wで ● ふた、およびふた付きの容器は、様子を見ながら
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 油脂の多い液体 (バター、生クリーム、オリーブ油など)</li> <li>● 粒入りのスープ (コーンの粒やあさりなどが入ったスープ) → 突然沸とうして飛び散るおそれ</li> </ul>	「レンジ」ボタンの500Wで様子を見ながら加熱する → P.22 ● スピード機能を使わない ● 油脂の多い液体や粒入りスープはラップをして、500Wで ● バターはふたをして、500Wで
<ul style="list-style-type: none"> <li>● みそ汁 → 突然沸とうして飛び散るおそれ</li> </ul>	「2 飲み物」ボタンで加熱する → P.15 ● スピード機能を使わない ● マグカップは使わない
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 牛乳、コーヒー、お茶、ジュース、水など</li> <li>● お酒 → 突然沸とうして飛び散るおそれ</li> </ul>	「2 飲み物」ボタンで加熱する → P.15
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 割りほぐしていない卵、ゆで卵(殻付き・殻なし)</li> <li>● ぎんなん、栗など殻や膜のある食品</li> <li>● ふた・せんなどを閉めた容器、ビン、密閉状態の食品 → 破裂によるけがのおそれ</li> </ul>	「レンジ」ボタンの600Wで様子を見ながら加熱する → P.22 ● 卵は割りほぐす ● ぎんなん、栗などの殻や膜には割れ目を入れる ● ふた・せんは外す(レンジ用のふたはすき間をあける)
お弁当 → 容器の変形や溶けるおそれ	「レンジ」ボタンの600Wで加熱する → P.22 ふた・ラップを外し、ゆで卵やアルミケース、調味料類は取り出す

■以下の食品は「1 あたため」ボタンで上手にあたためられません

食 品	加熱方法 または 注意事項
中華まん	「レンジ」ボタンの600Wで様子を見ながら加熱する → P.22
冷凍カレー、市販の冷凍食品・加工食品、500gを超える食品	市販の食品はパッケージの指示に従う 「レンジ」ボタンの500Wで様子を見ながら加熱する → P.22
乾干物・ポップコーン・冷凍したゆで野菜	「レンジ」ボタンの600Wで様子を見ながら加熱する → P.22

## 注意



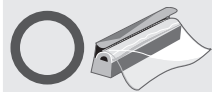
レトルトパウチ食品などはあたためない

火花が出て、発火、発煙、食品の破裂、ドアガラスの割れ、庫内底面の赤熱による割れなどで、けが、やけどのおそれがあります  
● レトルトパウチ食品は、パッケージの指示に従って加熱してください。

# あたためるときの注意とコツ (つづき)

## ラップをする／しないのコツ

### ラップをする



●炒め物 ●煮物、蒸し物  
●どんぶり物 ●冷凍した食品  
など

- 野菜炒め、焼きそばなど
- しゅうまいなどの蒸し物
- 肉じゃがなどの煮物
- 煮魚
- 冷凍ごはん、冷凍した食品
- ハンバーグ
- カレー・シチュー
- どんぶり物
- たれがかかった食品

- ラップはふんわりゆったりかけてください。密閉すると破裂することがあります。(安全上のご注意 → P.5)
- 冷凍ごはんなどはラップの重なりを下にしてください。重なりを上にとすると上手にあたたまりません。



### ラップをしない



●ごはん(常温・冷蔵)  
●汁物 ●揚げ物  
など

- ごはん
- チャーハン・ピラフ
- フライ、天ぷら
- スープ\*
- 焼き魚

※

- みそ汁は「2 飲み物」ボタンで加熱してください。→ P.15
- コーンの粒やあさりなどが入ったスープ、ポタージュスープは、ラップをして「レンジ」ボタンの500Wで加熱してください。→ P.22  
ただし、スピード機能を使わないでください。

## 上手にあたためるには

食 品	分 量	加熱方法 または コツ
●ごはん 炒め物・焼き物	100～500g	●ごはんを柔らかく仕上げたいときは水か酒をふる。 ●チャーハンなど油を使ったごはん物はふた(ラップ)なしで加熱する。
●スープ*	100～500g	●陶器や耐熱性の容器に入れ、加熱後、必ず混ぜる。
●煮物・蒸し物	100～500g	●深めの耐熱容器で加熱する。 ●カレー・シチューは必ずラップをして、加熱後に混ぜる。
●どんぶり物	300～400g	●ラップをして加熱する。

## 冷凍した食品を上手にあたためるには

食 品	分 量	加熱方法 または コツ
●ごはん物 炒め物・焼き物	100～300g	●冷凍ごはんはラップに包み、耐熱性の平皿にのせる。 ●冷凍した焼きおにぎりは重ならないように耐熱性の平皿にのせる。
●スープ*	100～500g	●広口のスープ皿か深めの耐熱容器で加熱する。加熱後混ぜる。
●蒸し物	100～400g	●乾燥防止のため水を振りかける。

上手な冷凍のしかた：平たく、均一に1人分、1個ずつ包むと上手に冷凍できます。

# 飲み物をあたためる

牛乳、コーヒー、お茶、ジュース、みそ汁、水などをあたためます。

## 1 飲み物を入れる

2



2 飲み物(1杯/2杯)

を1度押す(加熱開始)

(2杯のときは2度押す)

途中で残り時間を表示します。



1杯のとき



2杯のとき

ピーピーと5回鳴ったら

でき上がり

庫内に取り忘れがあると、「ピーピー」と2分おきにブザーが鳴ります。(6分間)

## ■加熱不足のときは追加加熱をする

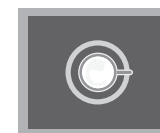
「レンジ」ボタンの600Wで様子を見ながら加熱します。追加加熱をする前も、必ず混ぜてください。

## あたためのコツ

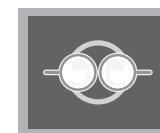
- 1杯の分量は200mLが基準
- 加熱前の温度の基準  
牛乳など : 冷蔵庫温(約8℃)  
コーヒー、みそ汁など : 常温(約20～25℃)
- 広口で背の低い耐熱容器を使ってください。
- 容器の8分目まで入れてください。
- 加熱前、加熱後は必ず混ぜてください。
- 2杯のときは分量をそろえてください。
- 飲み物の種類や容器の大きさ、形状、材質、厚みによって仕上がりが変わるため、様子を見ながら加熱してください。
- 「2 飲み物」ボタンでお酒はあたためられません。「レンジ」ボタンの600Wで様子を見ながらあたためてください。→ P.22

## 置き方

■1杯



■2杯



警告



飲み物を加熱しすぎない(突沸に注意)

加熱後、取り出したあとに、突然の沸とうによる飛び散りなどでやけどのおそれがあります  
自動であたためる場合、必ず、本ページの記載に従い、「2 飲み物」ボタンで杯数を合わせて加熱する。

突沸





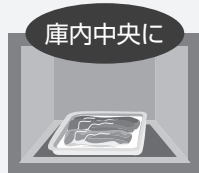
# 解凍する

冷凍庫で保存していた肉や魚などの解凍に使用します。

例) 150gの食品を解凍するとき

## 1 食品を入れる

ラップはしません。



## 2 解凍を押す



## 3 100g 10g のスピードを押して重量を合わせる

ボタンを押しつづけても設定できます。



## 4 スタートを押す (加熱開始)

残り時間を表示します。

ピーピーと5回鳴ったら

でき上がり

庫内に取り忘れがあると、「ピーピー」と2分おきにブザーが鳴ります。(6分間)

### ■加熱不足のときは追加で解凍する

「レンジ」ボタンの150Wで時間を合わせて、様子を見ながら加熱します。

「解凍」ボタンは重量(g)の設定が必要です。

必ず重量(g)を合わせてから、「スタート」ボタンを押してください。➡ P.16

### 解凍のコツ

冷凍庫から出してすぐに解凍してください。

- 発泡スチロールのトレーのまま入れます。
- トレーがなければ、耐熱性の平皿で。
- 分量は100～500gまで(さしみは100～200gまで)  
100g未満でも設定できますが、上手に解凍できません。
- 表面に付いた霜は取り除きます。(煮えの原因)
- 仕上がりは  
形状、肉質、冷凍状態、開始温度によっては部分的に煮えたり、固めになったりすることがあります。

### ■まずは上手に冷凍しましょう

- 新鮮な食材を選ぶ。
- 食材はラップでしっかり密封する。
- 薄切り肉は、極端に厚い、薄い部分がないようにできるだけ厚みをそろえる。
- ミンチ肉は2～3cmに厚みをそろえ、押さえつけずにふんわりと形を整える。
- さしみは厚みを均一に、魚介類はできるだけ重ねない。
- 鶏肉は折り曲げたりせず、厚みがでないように平たく広げる。

### ■次のような食品は、上手に解凍できません

- 冷凍庫から出して長い間放置した食品
- 冷凍庫から冷蔵庫へ移した食品
- 分量が100g未満の食品

➡ 「レンジ」ボタンの150Wで様子を見ながら解凍します。

### ■「レンジ」ボタンで解凍するとき

150Wで加熱時間を合わせます。

### お知らせ

以下の食品は、「解凍」ボタンは使えません。

- 冷凍ごはんなどは、「1 あたため」ボタンで加熱してください。➡ P.12
- ゆでて冷凍した野菜は「レンジ」ボタンの600Wで時間を合わせて解凍してください。

# レンジボタンで加熱する

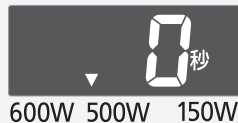
例)「500W 6分」で加熱するとき

## 1 食品を入れる

食品により、ふた、またはラップをします。→ P.14、22

## 2 レンジ を押して出力を合わせる

押すごとに出力表示が切り換わります。  
600W→500W→150W



## 3 1分 10秒 を押して時間を合わせる

- ボタンを押しつづけても設定できます。
- 時間を合わせると出力の変更はできません。  
変更したいときは、「取消」ボタンを押して、最初から設定し直してください。



### ■出力ごとの最大設定時間

600W	500W	150W
15分	15分	60分

### お知らせ

パッケージなどに記載の時間が合わせられない場合は、  
短めの時間に合わせて様子を見ながら加熱してください。

## 4 スタート を押す (加熱開始)

ピーピーと5回鳴ったら

でき上がり

庫内に取り忘れがあると、「ピーピー」と2分おきにブザーが鳴ります。(6分間)

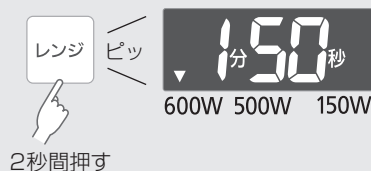
### ■加熱不足のときは追加加熱をする

レンジの出力と時間を合わせて、様子を見ながら加熱します。

### ■レンジ設定メモリー機能

初期画面の状態で「レンジ」ボタンを2秒間押すと、  
前回設定したレンジの出力と時間が表示されます。

- 時間を変更できます。(出力は変更できません)



# スピード機能を使う

スピード機能について

- レンジ加熱開始後、表示部の「🕒」が点滅中(約14秒間)にボタンを押すと、高出力で加熱し、設定時間より時間を短縮できる機能です。
  - 生の食材を使った調理に使用すると、加熱不足や加熱ムラが出やすくなります。
  - 以下のような状況や条件により、一時的に使えない場合や時間短縮効果が異なる場合があります。
    - ・ あたためのためやスピード機能の連続使用時
    - ・ 電源プラグを抜き差ししたすぐあと
    - ・ 庫内の温度が高い場合
- 使えない場合は、しばらくすると使えるようになります。

例)「600W 5分」で加熱するとき

## 1 食品を入れ、レンジ を押して 600Wまたは500Wに合わせる

150Wではスピード機能は使えません。



## 2 1分 10秒 を押して時間を合わせる

スピード機能が使用できる範囲 ● 設定時間 30秒～10分



### お知らせ

パッケージなどに記載の時間が合わせられない場合は、  
短めの時間に合わせて様子を見ながら加熱してください。

## 3 スタート を押し、10g スピード を押す (加熱開始)



- 表示部の「🕒」が点滅中(約14秒間)に 10g スピード を押します。
- 「🕒」が表示されていないときは使えません。

ピーピーと5回鳴ったら

でき上がり

庫内に取り忘れがあると、「ピーピー」と2分おきにブザーが鳴ります。(6分間)

# レンジボタンで野菜をゆでる

## 使用ボタン

レンジ 600W



## 警告



野菜を「レンジ」ボタンの600Wで加熱するときは、設定時間を控えめにする

少量のとき、加熱時間が長いと発火や発煙のおそれがあります  
特にさつまいもなどの根菜類の加熱には気を付ける。

### 葉菜

ほうれん草など

#### 1 水洗いする

太い茎には、十文字の切り込みを入れる。  
葉と茎は交互に重ねる。

#### 2 加熱する

水けを残し、耐熱性の平皿に並べる。  
皿からはみ出さないようにラップをゆったりかけ、庫内中央へ。  
(少しすき間をあける)  
「レンジ」ボタンの600Wで加熱。



#### 3 加熱後、流水にさらす

### 果花菜

かぼちゃなど

#### 1 下ごしらえをする

大きさをそろえて  
やや厚めに切る。

#### 2 加熱する

水けを残し、小さめの耐熱性の平皿に並べてラップをゆったりかけ、庫内中央へ。  
(少しすき間をあける)  
「レンジ」ボタンの600Wで加熱。



### 根菜

じゃがいもなど

#### 丸ごと使うとき

水けを残し、耐熱性の平皿に並べて、ラップをゆったりかけ、庫内中央へ。  
(少しすき間をあける)  
「レンジ」ボタンの600Wで加熱後、約5分蒸らす。  
(2個以上の場合、重ねないで皿にのせる)



#### 切って使うとき

皮をむき、大きさをそろえて切る。  
水けを残し、耐熱性の平皿に並べてラップをゆったりとかけ、庫内中央へ。  
(少しすき間をあける)  
「レンジ」ボタンの600Wで加熱。

## 果花菜

素材名	分量	設定時間	アク抜き	色止め
なす	100g	約2～3分	要	要
かぼちゃ	200g	約2～3分	—	—
とうもろこし	1本(250～300g)	約4～6分	—	—

## 根菜

素材名	分量	設定時間
じゃがいも	1個(150g)	約4～5分
さつまいも	1本(200g)	約4～5分
にんじん	100g	約1～2分

### ここがコツ

- 水けを残して加熱。食品の乾燥や脱水を防ぐ。
- アクの強い野菜は、アクを抜き、色止めをする。  
(アク抜き……………加熱前に水にさらす)  
(色止め……………加熱後に流水にさらす)

### とうもろこしのゆで方とポイント

- 皮とひげを取り除き、水洗いする。  
ラップで包み、耐熱性の平皿にのせる。  
(途中で裏返す。加熱後、ラップをしたまま5分蒸らす)
- 日にちがたった物は、水分が少なくなるため、うまく加熱できない場合があります。

## 葉菜

素材名	分量	設定時間	色止め
ほうれん草	200g	約3～4分	要
キャベツ	100g	約1～2分	—
アスパラガス	100g	約1分30秒～2分	要
ブロッコリー	100g	約1～2分	—

# レンジボタンで加熱するときの目安時間

## あたためるときの注意とコツ

- 加熱不足や加熱ムラが気になる場合は、取り出して混ぜたり、並べかえたりして追加加熱をしてください。
- 食品の分量を2倍にした場合は、加熱時間を2倍弱に合わせます。
- コーヒーの設定時間は、加熱前の温度が常温(約20～25℃)のときの時間です。
- ポップコーンはパッケージの加熱方法に従ってください。
- 市販の冷凍食品(レンジ用)や加工食品はパッケージの加熱方法に従い、「レンジ」600Wで様子を見ながら加熱してください。
- パッケージなどに記載の時間が合わせられない場合は、短めの時間に合わせて様子を見ながら加熱してください。
- 冷凍食品は、冷凍庫から出して時間がたった場合(温度が上がった食品)は、設定時間を控えめにしてください。
- ごはんやカレーなどを冷凍するときは、平たく均一に1人分ずつ包んでください。

## 警告



食品・飲み物は加熱しすぎない

発火や発煙、やけどのおそれがあります

飲み物は、加熱後、取り出したあとに、突然の沸とうによる飛び散りなどでやけどのおそれがあります  
設定時間を控えめにし、様子を見ながら加熱してください。

## 注意



レトルトパウチ食品などはあたためない

火花が出て、発火、発煙、食品の破裂、ドアガラスの割れ、庫内底面の赤熱による割れなどで、けが、やけどのおそれがあります

●レトルトパウチ食品は、パッケージの指示に従って加熱してください。

	出 力	メニュー名	分 量	加熱時間	加熱のポイント	ラップ・ふた
あたため(常温・冷蔵)	600W	冷やごはん	1杯(150g)	約1分～1分20秒	柔らかく仕上げたいときは水か酒をふる。	—
		どんぶり物	1人分(350g)	約2分30秒～3分30秒		有
		カレー・シチュー	1人分(300g)	約3分～3分30秒	深めの容器に入れて、加熱途中と後に必ず混ぜる。 レトルト食品は、パッケージの加熱方法に従う。	
		野菜の煮物	1人分(150g)	約1分30秒		
		しゅうまい	8個(150g)	約1分20秒～1分40秒	包装などを取り、深めの容器に入れる。	
		肉まん・あんまん	1個(80g)	約40～50秒	容器にのせる。あんまんは、皮よりあんの方が先に熱くなるので注意する。	
		牛乳・コーヒー	1杯(200mL)	約1分30秒～1分40秒	背の低い広口容器を使う。加熱前後に必ず混ぜる。	—
		お酒	1本(180mL)	約1分	背の低い、ずんぐりとした容器を使う。加熱前後に必ず混ぜる。	
		野菜炒め	1人分(200g)	約2分～2分30秒	乾いている場合、加熱前にバターかサラダ油を加える。	有
		スパゲティ・焼きそば	1人分(250g)	約3～4分		
		ホットケーキ	1枚(60g)	約30秒～1分		
		バターロールなど	1個(30g)	約10秒	加熱後、時間がたつと固くなるので食べる直前にあたためる。	—
		お弁当	400g	約1分30秒～2分	ふた・ラップを外し、ゆで卵やアルミケース、調味料類は取り出す。	
	500W	みそ汁	1杯(150mL)	約1分40秒～2分	加熱後に必ず混ぜる。	
		粒入りスープ*	1杯(180mL)	約1分30秒～2分	加熱後に必ず混ぜる。必ず、ラップをする。	有
		ハンバーグ	1個(90g)	約1分～1分20秒		
		焼き魚	1切れ(80g)	約40～50秒		—
		天ぷら	3個(150g)	約30～50秒	重ならないように皿にのせて加熱。	
あたため(冷凍)	600W	ごはん(固まり)	1杯分(150g)	約2分～2分30秒	ラップに包み、耐熱性の平皿にのせて加熱。	有
		しゅうまい	12個(170g)	約3分30秒～4分	包装などを取り、水にくぐらせてから容器に入れ、加熱。	
		ピラフ(パラパラの物)	1人分(250g)	約3分30秒～4分	加熱前、よくほぐし容器に入れる。加熱後、必ず混ぜる。	
		肉まん・あんまん	1個(80g)	約1分～1分20秒	底の紙を取り、水にくぐらせてから容器にのせて加熱。	
		お好み焼き	1袋(300g)	約6～7分		
		ハンバーグ	1個(90g)	約3～4分		
		ミックスベジタブル	100g	約2分～2分30秒	加熱後、混ぜる。	
	500W	カレー・シチュー	1人分(300g)	約9～10分	深めの容器に入れて、加熱途中と後に必ず混ぜる。	

※コーンの粒やあさりなどが入ったスープは具がはねやすいので、様子を見ながら加熱してください。



# うまく仕上がらない

## ■「1 あたため」ボタンを押してあたためたとき

熱くならない	<ul style="list-style-type: none"><li>●食品が金属容器・アルミホイルなどで、おおわれていますか。</li><li>●容器の種類により仕上がりが変わる場合があります。 もう少し加熱したい場合は、「レンジ」ボタンの600Wで時間を合わせて追加加熱してください。</li><li>●冷凍力レーは自動ではうまくあたためられません。 ラップをして「レンジ」ボタンの500Wで時間を合わせて加熱してください。 ➡ P.22</li></ul>
たれが飛び散る	<ul style="list-style-type: none"><li>●深めの耐熱容器に入れて、ラップをしてあたためてください。</li><li>●たれは加熱後にかけましょう。</li></ul>
熱すぎる	あたためる分量が少なすぎませんか。分量を確認してください。
ごはんが熱すぎる	「レンジ」ボタンの600Wで様子を見ながら加熱してください。
冷凍ごはんがぬるい	あたためる分量が多すぎませんか。300g以下にしてください。

## ■飲み物

熱すぎる 上と下で温度が違う	<ul style="list-style-type: none"><li>●杯数の設定・置き方をまちがえていませんか。</li><li>●「2 飲み物」ボタンを使いましたか。</li><li>●少量を加熱すると沸とうします。容器の8分目まで入れてください。</li><li>●加熱後、よく混ぜてください。</li><li>●お酒は「2 飲み物」ボタンではあたためられません。 「レンジ」ボタンの600Wで様子を見ながらあたためてください。 ➡ P.22</li></ul>
-------------------	---

## ■解凍

食品が煮えた 凍った部分が残る	<ul style="list-style-type: none"><li>●食品の厚みが不均一だと薄い部分は煮え、厚い部分は溶け残りやすくなります。 冷凍するときは、食品の厚みを3cm以下にそろえてください。</li><li>●ラップなどの包装を取り外してください。</li><li>●形状、肉質、冷凍状態、開始温度などによっては部分的に煮えたり、固めになったりすることがあります。</li></ul>
--------------------	--

## ■スピード機能


うまくできない	<ul style="list-style-type: none"><li>●本体の状況や使用条件により、一時的に使えない場合や時間短縮効果が異なる場合があります。 使えない場合は、しばらくすると使えるようになります。</li><li>●生の食材を使った調理に使用すると、加熱不足や加熱ムラが出やすくなります。</li></ul>
---------	---

# 故障かな？


QRコードからサポート情報をご覧ください。



故障かな？と思われるときは、以下の項目に従って、調べてください。

症 状	原 因
操作できない まったく動かない	<ul style="list-style-type: none"><li>●表示部に「0」を表示していますか。自動電源オフ機能が働いている場合はドアを開閉し、「0」表示が出てから操作してください。</li><li>●表示部に「L」を表示していませんか。 ロック設定されているので解除してください。➡ P.2</li><li>●停電していませんか。</li><li>●配電盤のブレーカーが切れていませんか。</li><li>●電源プラグが抜けていませんか。</li></ul>
食品があたたまらない	表示部に「M」が出ていませんか。 店頭用モードに設定されています。 【解除方法】①「レンジ」ボタンを押す。 ②「スタート」ボタンを4度押す。 ③「取消」ボタンを4度押す。 
調理中に火花が出る	<ul style="list-style-type: none"><li>●金属容器やアルミホイルなどを使用していませんか。</li><li>●金粉、銀粉のある容器を使用していませんか。</li><li>●庫内がさびていませんか。さびが火花の出る原因になることがあります。 ➡ P.8</li></ul>
庫内やドアに水滴が付着する	気密性の高い設計になっているため、庫内やドアに水滴が付着します。 冷めてからふきんなどで、ふき取ってください。
本体の底面から光が見える	庫内灯の灯りが本体底面のすき間から見えています。 故障や異常ではありません。
ブザー音が鳴らない	ブザー音設定が「OFF」になっていませんか。➡ P.11

次の表示が出たときは内容を確認したあと操作し直してください。「取消」ボタンを押すと表示は消えます。

症 状	原 因
	電気部品の温度が高いときに表示します。 <ul style="list-style-type: none"><li>●食品を入れずに加熱していませんか。</li><li>●少量や指定分量以外の食品を加熱していませんか。 分量を増やして加熱してください。</li><li>●カーテンなどが本体奥面の吸気口(➡ P.10)をふさいでいませんか。 カーテンなどを吸気口から離してください。 故障の原因となります。</li></ul>

## ■次のような表示が出たら、故障です。修理をご依頼ください。

→電源プラグを抜き、表示内容をお買い上げの販売店、または修理ご相談窓口へご連絡ください。  
「取消」ボタンを押すと表示は消えます。



Hのあとの□□には、2けたの数字が入ります。

●本書に掲載のURL、QRコードのリンク先は、予告なく変更または削除されることがあります。

# お手入れする

## 警告



本体のお手入れは、電源プラグを抜き、庫内が冷めてから行う  
やけど、感電、けがのおそれがあります

## 注意



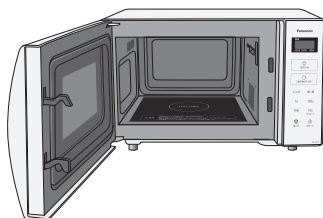
庫内に付着した油や食品カスはふき取る  
そのまま加熱すると発火や発煙の原因になります  
●必ず庫内が冷めてからふき取ってください。

■洗剤、食品カスをすき間や製品の穴に入れないでください  
(故障の原因になります)

■次の物は使わないでください  
(傷が付いたり、色がはげたりします)



### ■庫内(ドア内側) 固く絞ったぬれぶきんで、水ぶきする



長い間ご使用いただくために、付着した油や食品は、すぐにふき取ってください。  
さびの原因になります。

- 底面の汚れがひどい場合は、台所用洗剤(中性)を布にしみ込ませ、固く絞ってふき取ります。
- 底面に水をかけたり、衝撃を与えたりしないでください。  
(耐熱ガラス製のため、割れるおそれがあります)
- 庫内右上にある蒸気センサーに触れないでください。→ P.10  
(センサーが曲がると正しく検知できなくなります)
- 庫内やパッキン部(庫内、ドア)を強くこすらないでください。  
(庫内のパッキン部がはがれる原因になります)

### ■外まわり・ドア 柔らかい布で、水ぶきする



- 付着した油や食品は、すぐにふき取ってください。  
汚れがひどい場合は、台所用洗剤(中性)を布にしみ込ませ、ふき取ります。
- ドアの外側は、水ぶきのあと、柔らかい布でからぶきをしてください。
- 吸気口・排気口(→ P.10)に付いたほこりなどは乾いた布で定期的に取り除いてください。  
(性能を維持するため)

# 仕様など

仕 様			
消 費 電 力	1400 W		
高 周 波 出 力	1000 W※1 600～150 W相当		
発 振 周 波 数	2450 MHz		
電 源	交流100 V (50 Hz / 60 Hz共用)		
質 量	約8.9 kg		
外 形 寸 法	幅488 mm×奥行380 mm×高さ298 mm (ドアハンドルを含む奥行405 mm)		
庫 内 寸 法	幅332 mm×奥行365 mm×高さ206 mm		
消 費 電 力 量 の 目 安			
区分名※2	A：単機能レンジ	年間待機時消費電力量	0.0 kWh / 年
電子レンジ機能の年間消費電力量	59.9 kWh / 年	年間消費電力量	59.9 kWh / 年

※1 高周波出力1000Wは短時間高出力機能(最大1分30秒)であり、調理中自動的に600Wに切り換わります。これは自動メニュー「1 あたため」ボタン、「2 飲み物」ボタンで働きます。

※2 区分名は省エネ法に基づき、機能、加熱方式、および庫内容積の違いで分かれています。

- コンセントに電源プラグを差した状態で、表示部が消灯しているときの消費電力は0Wです。  
(表示部に初期画面を表示時1.6W)
- 年間消費電力量(kWh / 年)は省エネ法・特定機器「電子レンジ」新測定法による数値です。
- 実際にお使いになるときの年間消費電力量は周囲環境、使用回数、使用時間、食品の量によって変化します。
- この製品は、日本国内用に設計されています。電源電圧や電源周波数の異なる外国では、使用できません。  
また、アフターサービスもできません。

## 愛情点検

### 長年ご使用の電子レンジの点検を!



こんな症状はありませんか

- 電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。
- 異常なおいや音がする。
- ドアや庫内に著しいガタや変形がある。
- 触ると電気を感じる。
- その他の異常や故障がある。

ご使用  
中止

事故防止のため、  
ご使用を中止し、  
コンセントから  
電源プラグを抜いて  
販売店へ点検を  
ご依頼ください。

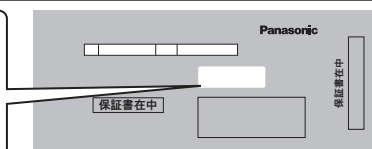
## 「CLUB Panasonic」で「商品登録」をお願いします

家電情報をまとめて登録管理、登録商品のサポートも充実  
詳しくはこちら <https://club.panasonic.jp/aiyo/>



保証書のQRコードから  
登録していただくと、  
品番と製造番号を  
入力する必要がなく、  
簡単に登録いただけます。

QRコード



QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。